

事業所職員向け 令和3年度 児童発達支援自己評価表 (多摩市ひまわり教室)

支援スタッフ数 16名(常勤7, 非常勤9) / 回収数 14名 / 回収率 88%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	79%	21%	人数が増えやや狭くなってきている気がするという意見もありますが、ベランダなど「動き」の大きい場所では時間制や人数制限を設けて事故防止に努めています。	今後も環境を有効活用します。 注：基準の約3倍の広さに加え、ベランダ、広場有
	2	職員の配置数は適切であるか	71%	29%	国基準に東京都の加算を入れると、定員27名のひまわりは職員数が7名(1日当たり)となっておりますが、多摩市は9名として予算化しています。また、職員の病休や研修、出張等を想定して毎日11~12名(心理STOT、音楽は含まず)を雇用しています。	間接業務の効率化により、適切な労働環境の整備に努めています。今後はネット環境の整備をしてICT化を進めていく計画を進めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	86%	14%	・セラピーマットを活用し、各スペースの使い方を分かりやすくしています。 ・一人ひとりマークを決め、個別の場所(ロッカーやタオル掛け等)につけることで、自分の場所が分かるように配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	79%	21%	・朝、夕の室内消毒、玩具の消毒、掃除を毎日実施し、衛生に努めています。 ・年4回業者による床清掃 ・窓のない部屋は空気清浄機を設置 ・排気窓を常時開放	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	93%	7%		ボトムアップの力を向上していくために、役割分担の見直しをします。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	要望については会議で検討し、要望とその対応を一覧表にまとめて保護者に配布しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	92%	8%	毎年2月にホームページで公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	3年に1度実施しています。令和3年度は実施年度であり、利用者評価ではとても高い評価をいただきました。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	・法人内：全体会2回、各委員会主催 ・法人主催：年11回 ・事業所内：事例検討会6回、勉強会12回 ・外部：各種	1年目スタッフは、集中的に数多く研修を組んでいますが、2年目以降は任意となっています。コロナ禍で研修案内が減っていますが、次年度はオンラインも含め、受講を勧めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	計画の各項目(大項目4、小項目10)毎にアセスメントを実施し、見立てと「今必要な支援」を丁寧に、計画に入れています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%	・入園児に、心理・ST・OTの担当者による評価を実施しています。 ・法人共通のアセスメントシートを作成し、参考にしています。	法人共通のアセスメントシートは、今後ブラッシュアップしていく予定です。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	・個別支援計画策定後に、全スタッフ参加のケア会議を実施して、情報共有をしています。 ・日中支援記録は、個別支援計画の全項目と各項目のねらいとなるキーワードを予めいれています。そのため、記載時にねらいに沿った支援の様子を記載できるように工夫しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	93%	7%	常勤が担当するクラスの月案を、相談しながら立案しています。	

事業所職員向け 令和3年度 児童発達支援自己評価表 (多摩市ひまわり教室)

支援スタッフ数 16名(常勤7, 非常勤9) / 回収数 14名 / 回収率 88%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	ねらいによっては繰り返し行うこともありますが、その日の利用児やグループ構成に合わせたプログラムを実施しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	・「個が集まって集団を形成している」という考えから、グループ活動においても、一人ひとりに合わせた準備をしています。 ・必要に応じて、心理・ST・OTの療育を提供しています。 ・クラス内で、必要に応じて自立課題や1対1課題を提供しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	79%	21%	・朝のミーティングで、クラス毎に活動内容とそのねらいを報告しています。 ・常勤スタッフ間では当日又は前日に実施しています。 ・非常勤スタッフは送迎サービスの添乗をする日は難しいため、都度お伝えをしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	86%	14%	・常勤スタッフ間は毎日実施しています。 ・非常勤スタッフは15時までの就業のため、面談がある日は担任がいなくなり、振り返る時間は持てません。	クラスノートを活用し、振り返りができない時は、気が付いたこと等をそこに記載します。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	93%	7%	非常勤スタッフは15分しか記録の時間がないため、十分な記載は難しいです。	現在は手書きで記載しているため、今後に向けてネット環境の構築と、記録ソフトの導入を令和4年度、5年度で検討します。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	支援のPDCAサイクルを念頭に置くことで、モニタリングは常に実施しているところですが、半期ごとに担当者を中心に関係者から情報収集し実施しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	・全員セルフプランのため、計画相談はありません。 ・多摩市発達支援室と月1回の連絡会を開催し、情報を共有しています。 ・必要に応じて、担任と多摩市発達支援室地区担当で情報共有をしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	・多摩市発達支援室、子ども家庭支援センターと連携しています。 ・必要に応じて併行通園児の所属する保育園や幼稚園に行き、行動観察と支援の共有を行っています。	・健康センターと直接やりとりをすることはないため、年1~2回は情報交換をしたいと考えています。 ・多摩市幼保小連携協議会に参加させていただき、市内の関係機関と情報共有を図りたいと考えています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	保護者の同意を得て移行シートを作成し、対象園の事情に応じて退園前又は就園後に訪問して(希望者のみ)引継ぎを実施しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	保護者の同意を得て就学支援シートを卒園前に提出し、就学後に訪問しての引継ぎを実施しています。(コロナ禍により書面のみの場合有)	就学前と就学1か月経過した頃の2回実施できるとベストだと考えています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	93%	7%	・法人内児童分野の事業所において、集合研修、職種別専門部会、連携会議等を開催し、学びを通して知見を拡げる機会としています。 ・多摩市児童発達事業所連絡会に所属し、地域課題や幼児期から学齢期の課題について意見交換や研修を実施しています。	全国児童発達支援協議会、東京都社会福祉協議会に加盟していますが、コロナ禍で研修参加が出来ていません。オンライン等を含めて受講を勧めたいと思います。

事業所職員向け 令和3年度 児童発達支援自己評価表 (多摩市ひまわり教室)

支援スタッフ数 16名(常勤7, 非常勤9) / 回収数 14名 / 回収率 88%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善
関係機関や保護者との連携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	23%	77%	・以前は、公立保育園の行事にお声掛けいただき参加しましたが、現在は機会がなくなりました。 ・集団同士の交流はねらいの定め方が難しく実施していませんが、年長児を2グループに分けて年1回学童クラブと交流会を実施しています。学童クラブでは「お兄さん、お姉さんとしての関わり」をねらいに、ひまわりのお子さんの発達に応じた企画を準備してくれます。(令和2年度、3年度中止)	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	75%	25%	自立支援協議会に委員として参画しています。専門部会の子ども部会はありません。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	希望面談、送迎時、サービス提供記録票等でのやりとりを大事にしており、内容をスタッフ間で共有しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	83%	17%	・新入園対象のST学習会を複数回実施しています。 ・年3回の学習会はコロナ禍で中止となりました。 ・ペアレントトレーニングは、外部主催の事業について情報提供(お知らせを配布)をしました。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	多摩市発達支援室が実施しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	案をお渡しし、面談で意見交換をして完成させています。	直前にお渡しすることがあるため、家庭内でじっくり検討できるように、余裕をもって案を作成します。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	コロナ禍によりこの2年間は大幅に回数が減っていますが、今後も継続させていきたいと思っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	保護者会(全体会、学習会、クラス別懇談会)、運動遊びを楽しむ会の記念品作り、先輩ママの話を聞く会、パパ会等、予定がほとんど中止でできませんでした。	コロナ禍での保護者間の交流に向けて検討します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	相談や意見は、メール、口頭、面談、電話等の方法を周知しており、適宜対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	・新入園オリエンテーションで、事業内容書と入園のしおりを配布し、活動の内容とねらい、年間予定、連絡について等を口頭で説明しています。 ・毎月1回ひまわりだよりを発行し、ひまわりの様子、ご家庭での様子、予定等を発信しています。 ・毎月1回、活動の月案、特別支援療育予定を配布しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	法人の個人情報保護規定に則り、対応しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	ひまわりだより、正夢通信を初め、サービス提供記録、メール、電話、面談等を実施し、情報提供や個別の意思疎通に配慮しています。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	29%	71%	地域住民の招待等は行っていません。		
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	86%	14%	・各種マニュアル(職員、散歩、緊急対応(送迎・外出)(事故・事件)(医療)、重大事故、感染、プール等)を策定し、都度職員に周知しています。 ・嘔吐処理時に感染が広がらないための方法のロールプレイや、AEDの使用練習等を実施しています。	改定した時に周知する時間がなかなか取れていないため、今後は実施します。	

事業所職員向け 令和3年度 児童発達支援自己評価表 (多摩市ひまわり教室)

支援スタッフ数 16名(常勤7, 非常勤9) / 回収数 14名 / 回収率 88%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	避難訓練は毎月実施しており、年1回は保護者が災害伝言ダイヤルを利用して引き取りに来る訓練も実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	入園時に健康状況調査票をご提出いただき、毎年更新をしています。資料は常にスタッフが確認できるように、整理されています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	入園時または発症時に、医師の指示書と保護者依頼書をご提出いただき、適切に対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	86%	14%	リスクマネジメント委員会作成の書式に、毎日の報告を記載し、月、半期、年間で集計と考察をしています。事例集の作成は、事業所単独では作成していませんが、毎月の会議で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	年1回、虐待防止に関連する研修を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	73%	27%	権利擁護委員会にて、身体拘束適正化についての指針を策定しています。現在は対象児がないため、個別の計画に記載することはありませんが、事業所出入口は事故防止のために施錠をしているため、事業計画にその旨を記載しています。	令和5年度に身体拘束適正化について、法人で研修を実施する予定です。